

# Ubuntu 版 Hinemos インストール手順書

## 1 はじめに

本インストール手順書では、Ubuntu 版 Hinemos のインストール手順と設定方法について説明します。

基本的なインストール手順は Hinemos ver4.0 インストールマニュアル 第 1.1 版に沿っていますが、Ubuntu 版 Hinemos では一部異なる操作が必要となるため、本手順書で説明します。

## 2 動作環境

マネージャ動作 OS : Ubuntu Server 12.04.1 LTS 32bit

エージェント動作 OS : Ubuntu Server 12.04.1 LTS 32bit

## 3 マネージャ環境

Ubuntu 版マネージャを動作させる為には、以下のパッケージのインストールが必要となります。

- openssh-server
- openjdk-6-jre-headless
- unzip

一括制御を利用する為には、上記に加え以下のパッケージのインストールが必要です。

- expect
- krb5-clients

また、Windows サービス監視を利用する為には、sblimCIMClient.jar を別途用意し以下のディレクトリにコピーして下さい。

```
/usr/share/java/
```

なお、Hinemos マネージャが既に起動している場合は、マネージャの再起動が必要です。

## 4 エージェント環境

Ubuntu 版エージェントを動作させる為には、以下のパッケージのインストールが必要となります。

- openssh-server

- openjdk-6-jre-headless
- unzip
- snmpd
- libsnmp-base

## 5 Hinemos マネージャのサービス化

### 5.1 サービス起動スクリプト

以下のコマンドを実行し、サービス起動スクリプトを配置します。

```
# cd /opt/hinemos/sbin/service/
# sudo cp -p hinemos_manager /etc/init.d/
```

### 5.2 自動起動の設定

OS 起動時に Hinemos マネージャを自動的に起動するように、以下のコマンドを使用し設定します。

```
#sudo update-rc.d hinemos_manager defaults
```

## 6 Hinemos エージェントのサービス化

### 6.1 サービス起動スクリプト

エージェントはインストール時にサービススクリプトが配置されます。

### 6.2 自動起動の設定

OS 起動時に Hinemos エージェントを自動的に起動するように、以下のコマンドを使用し設定します。

```
#sudo update-rc.d hinemos_agent defaults
```

## 7 補足

### 7.1 エージェント側 OS の snmpd 設定ファイルについて

Ubuntu 版 Hinemos の動作対象となる Ubuntu Server 12.04.1 LTS 32bit に snmpd パッケージをインストールした場合、初期の設定として snmpd の設定ファイル「/etc/snmp/snmpd.conf」ではリモートアクセスを禁止する設定になっています。

- /etc/snmp/snmpd.conf

```

                                ～省略～
# Listen for connections from the local system only
agentAddress udp:127.0.0.1:161 ★該当設定箇所
                                ～省略～

```

ご利用の環境のセキュリティポリシーに従い、前述の設定ファイルを適宜修正してご利用ください。